

哲学書 ご担当者様



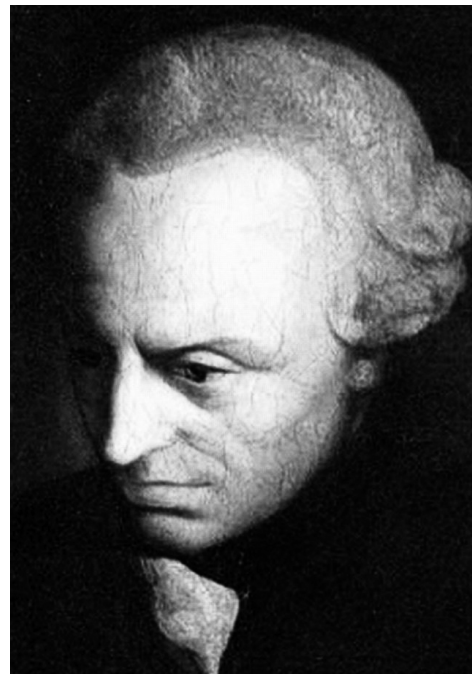
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11
TEL 03-3518-4940 http://www.shobunsha.co.jp
★は 5000 部、☆は 1000 部です。

FAX03-3518-4944

配本申込み〆切 4月6日

カントと 動力学の問題

菊池健三 著



イマヌエル・カント (1724-1804)

カントは「動力的」という概念を、『純粋理性批判』ほかの「三大批判書」以前から、最晩年の遺稿『オプス・ポストゥムム』にいたるまで、重要な箇所で使用している。この概念は、カント哲学体系における「自然の形而上学」と「人倫の形而上学」、すなわち自然と自由の空隙を埋める鍵を握っていると思われる。本書ではこうした「カント的動力学」の謎の解明を試みる。

菊池健三 (きくち・けんぞう)

1946 年秋田県生まれ。専修大学大学院博士後期課程修了。専修大学文学部哲学科教授。1979 年美術出版社主催「美術評論賞」受賞を機に、秋田由利の筆名で『現代美術辞典』(美術出版社)等、現代美術中心の評論を執筆。著書に『カントと二つの視点』(専修大学出版局)、共著に『ジル・ドゥルーズの試み』(北樹出版)他、共著に『西洋の美術』(晶文社)、訳書にヤウヒ『性差についてのカントの見解』(専修大学出版局)がある。

〔目次〕

- 第 1 章 前批判期における「自然の形而上学」の問題点
- 第 2 章 『純粋理性批判』と「動力的」という概念
- 第 3 章 『原理』における動力学
- 第 4 章 人倫の形而上学と動力学
- 第 5 章 『判断力批判』と「動力学」
- 第 6 章 『オプス・ポストゥムム』における「動力的エーテル」

新刊委託申込書

取次・貴店印

カントと動力学の問題 菊池健三 著

☆☆

申込部数

冊

展示方法

平 棚
台 差し

〈2015年4~5月刊行〉

〔哲学〕四六判224頁 予価：本体2,700円(税別)

ISBN978-4-7949-6878-4 C3010 晶文社営業部 TEL03-3518-4940

ご担当

様